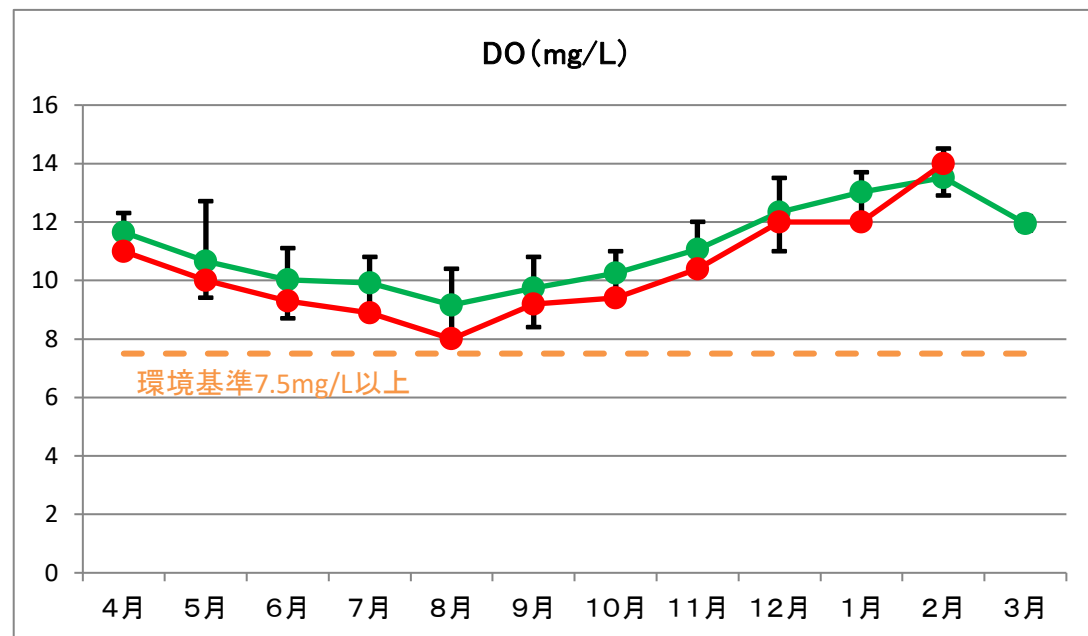
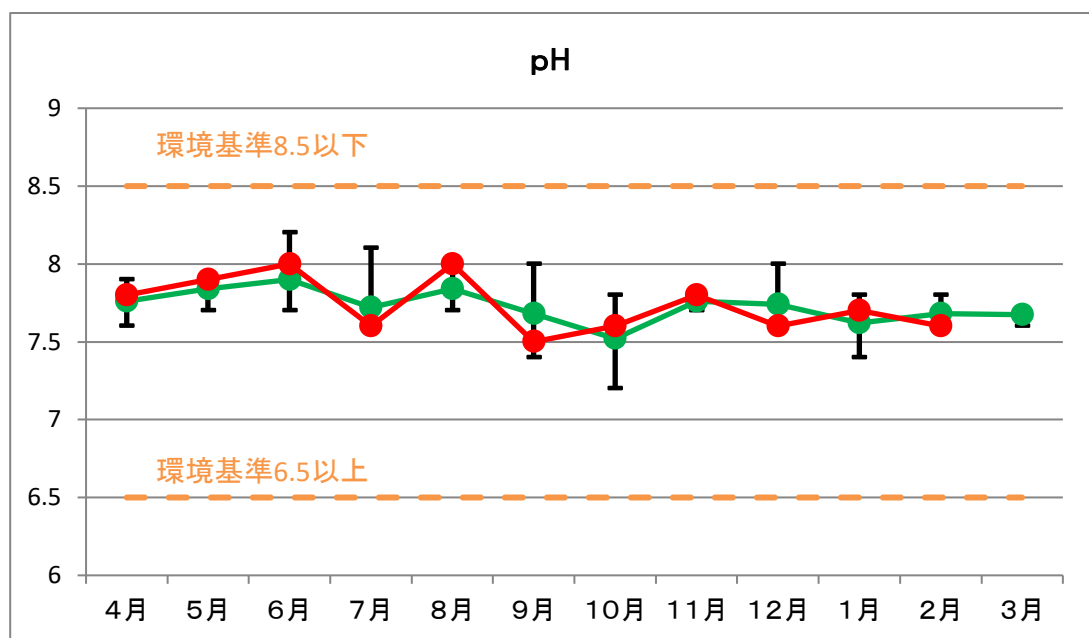
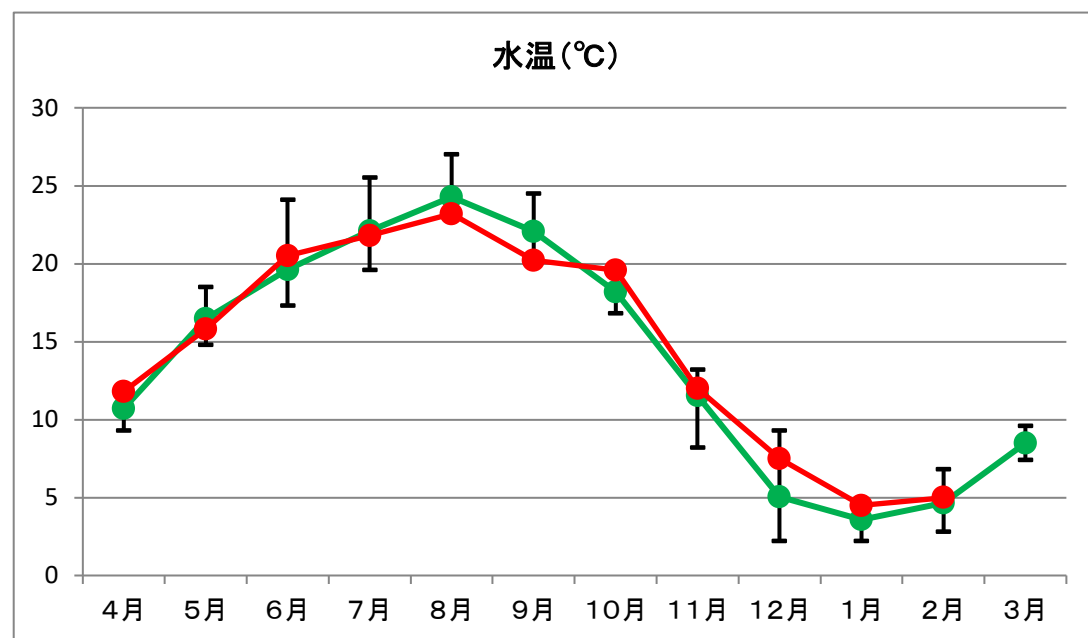
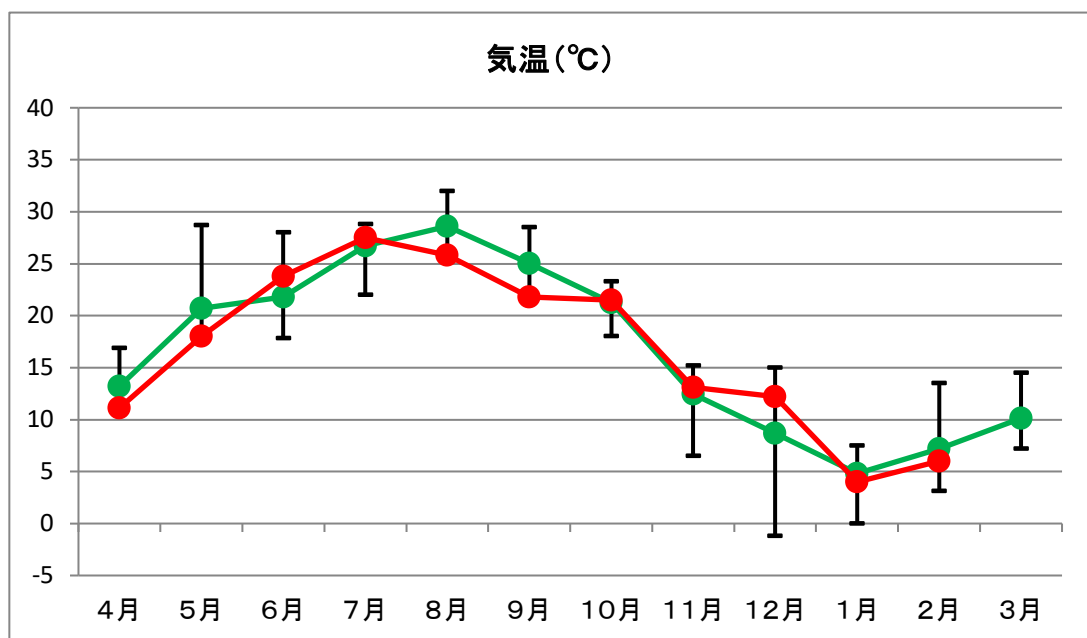


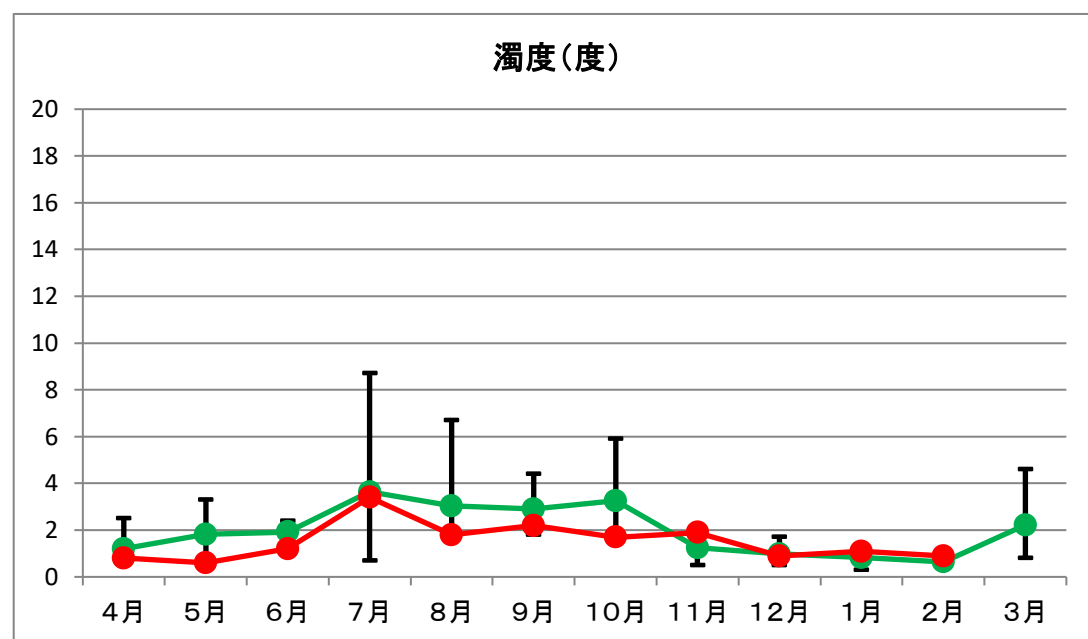
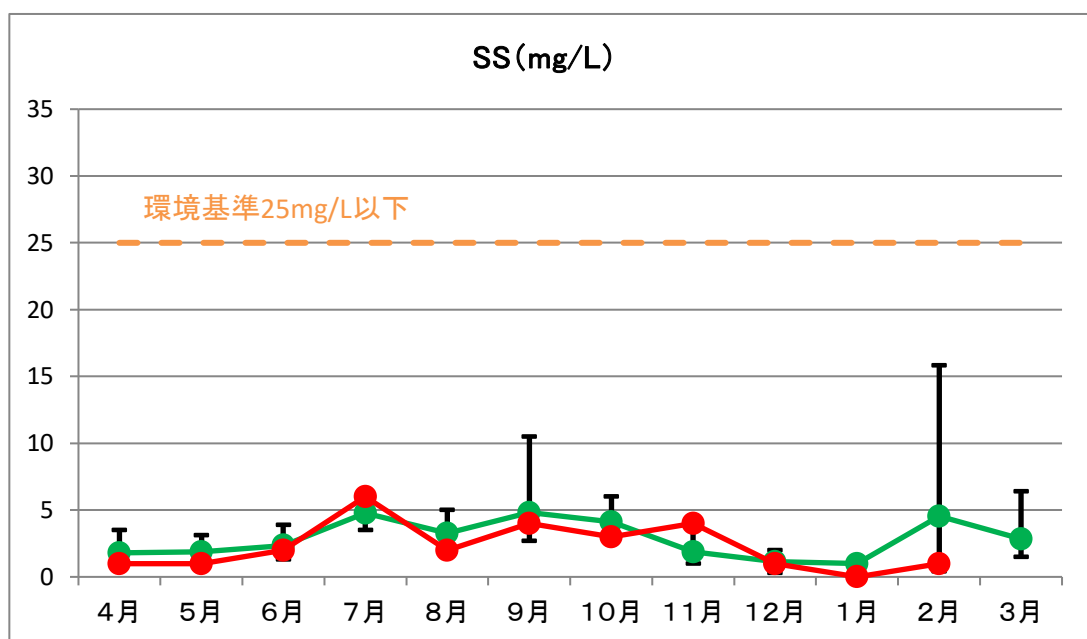
1. 新川上

I 過去4年変動幅(最大値-最小値)
 ● 過去4年平均値
 ● 令和3年度値
 (注)過去4年:平成29年4月~令和3年3月



※pH(水素イオン濃度指数):酸性、アルカリ性の度合いを示す物理量で、pH=7を中性と呼ぶ。

※DO(溶存酸素量):水中に溶存する酸素の量。酸素が少なくなると魚類をはじめとする水生動物は生息が困難となる。



※SS(浮遊物質):水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶性物質の総称。

※濁度:水の濁りの程度を表すもの。

※生活環境の保全に関する環境基準(水質汚濁に係る環境基準)

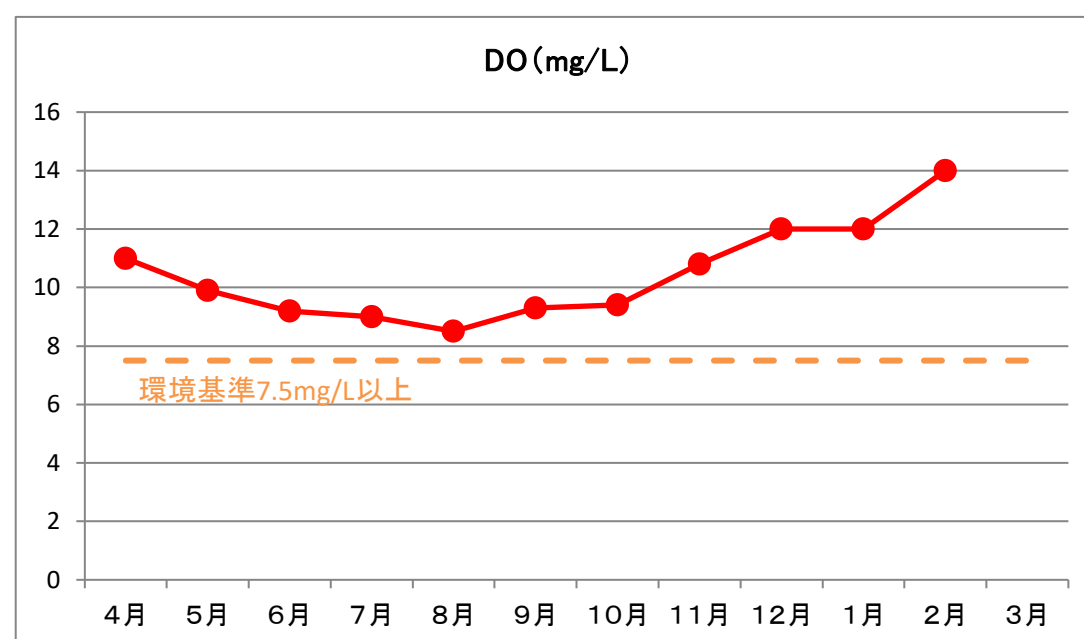
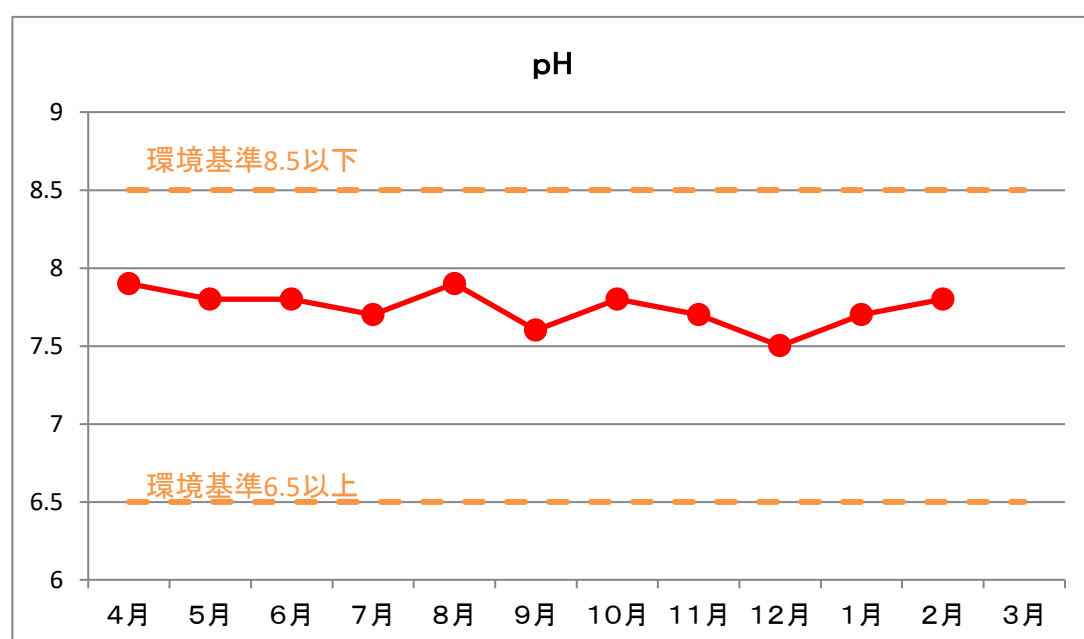
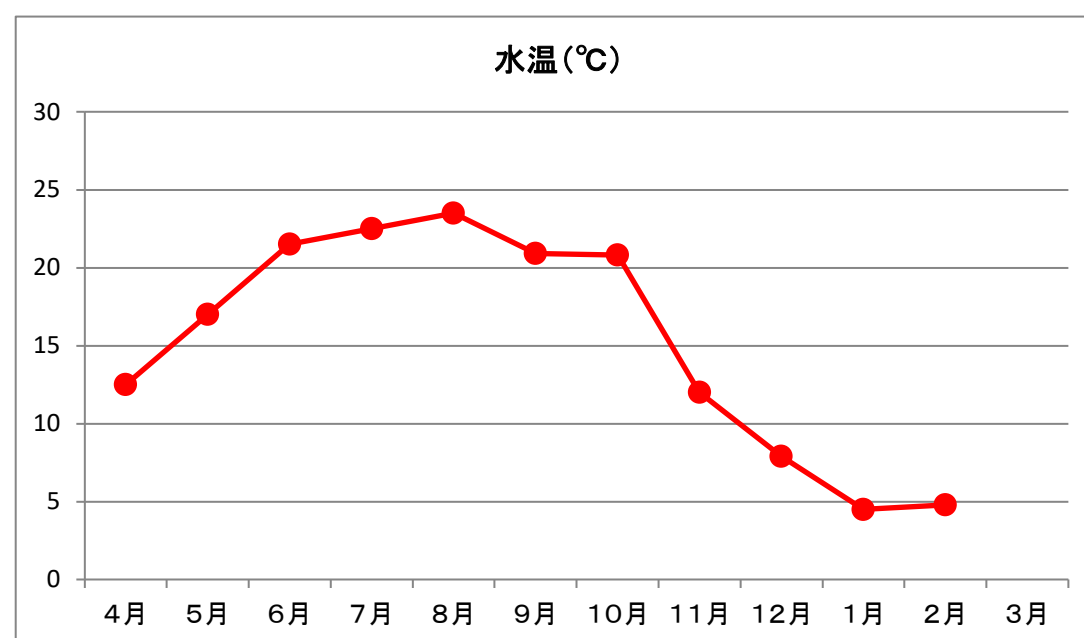
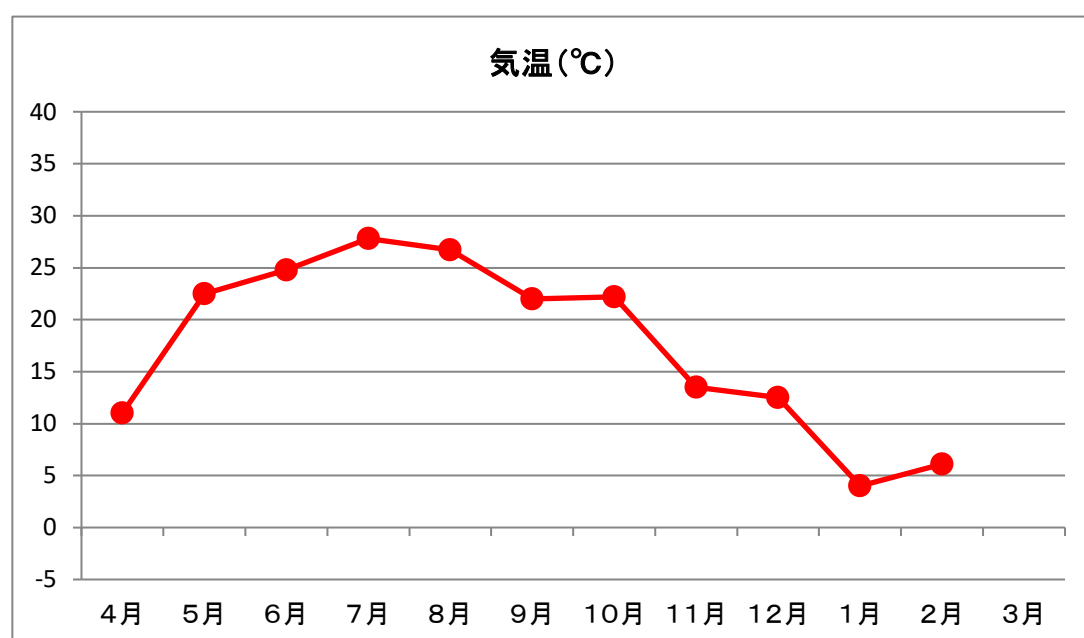
人の健康を保護し、また生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい環境上の条件についての基準。そのうち的生活環境項目については、水域の利用目的に応じた類型ごとに基準値が定められている。新川上のある前深瀬川は環境基準の類型が指定されていないため、木津川本川(A類型)を参考とする。

河川A類型

pH:6.5 ~ 8.5mg/L、DO:7.5mg/L以上、SS:25mg/L以下

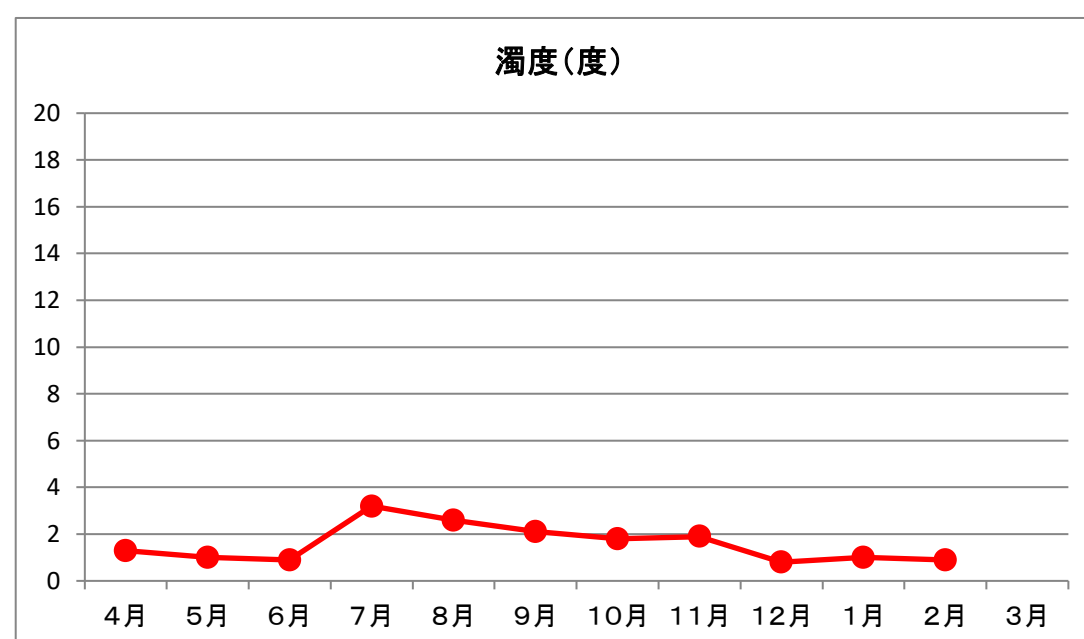
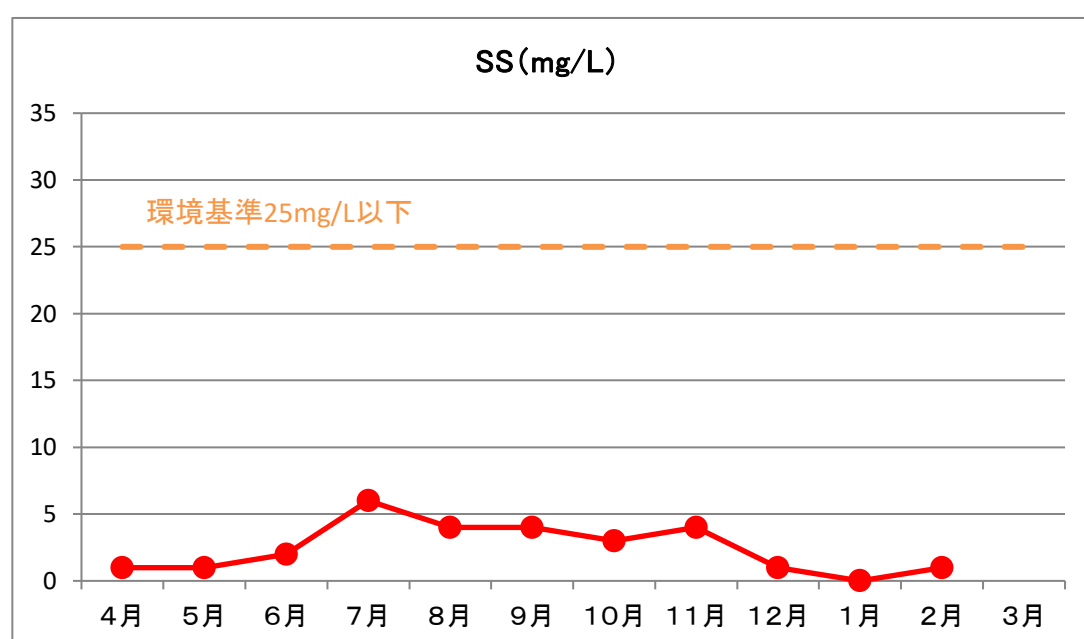
2. 放流口

● 令和3年度値



※pH(水素イオン濃度指数):酸性、アルカリ性の度合いを示す物理量で、pH=7を中性と呼ぶ。

※DO(溶存酸素量):水中に溶存する酸素の量。酸素が少なくなると魚類をはじめとする水生動物は生息が困難となる。



※SS(浮遊物質):水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶性物質の総称。

※濁度:水の濁りの程度を表すもの。

※生活環境の保全に関する環境基準(水質汚濁に係る環境基準)

人の健康を保護し、また生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい環境上の条件についての基準。そのうち的生活環境項目については、水域の利用目的に応じた類型ごとに基準値が定められている。放流口のある前深瀬川は環境基準の類型が指定されていないため、木津川本川(A類型)を参考とする。

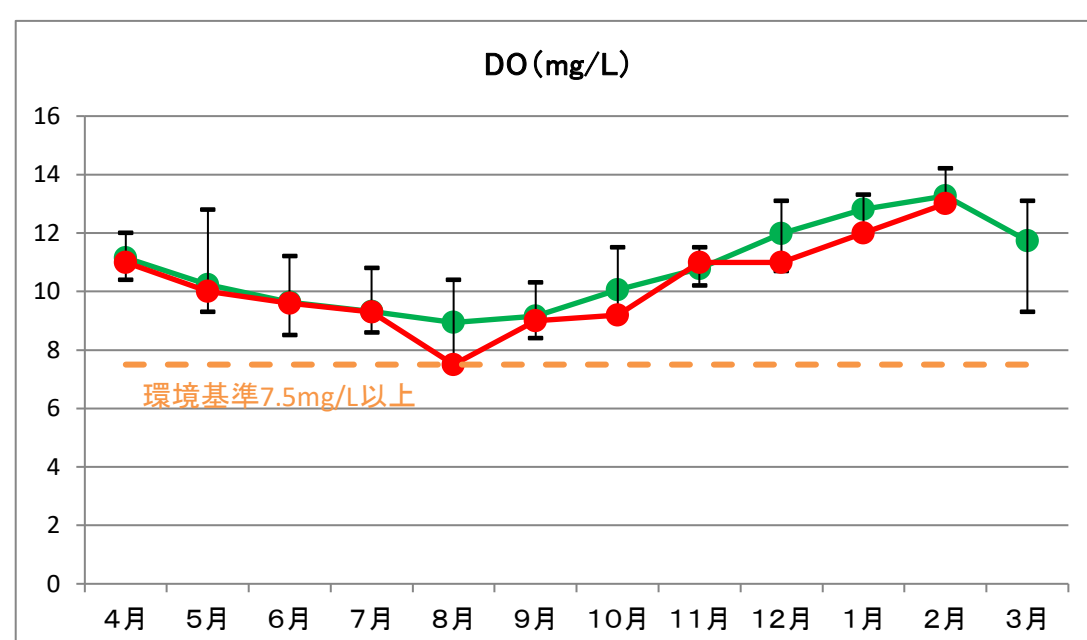
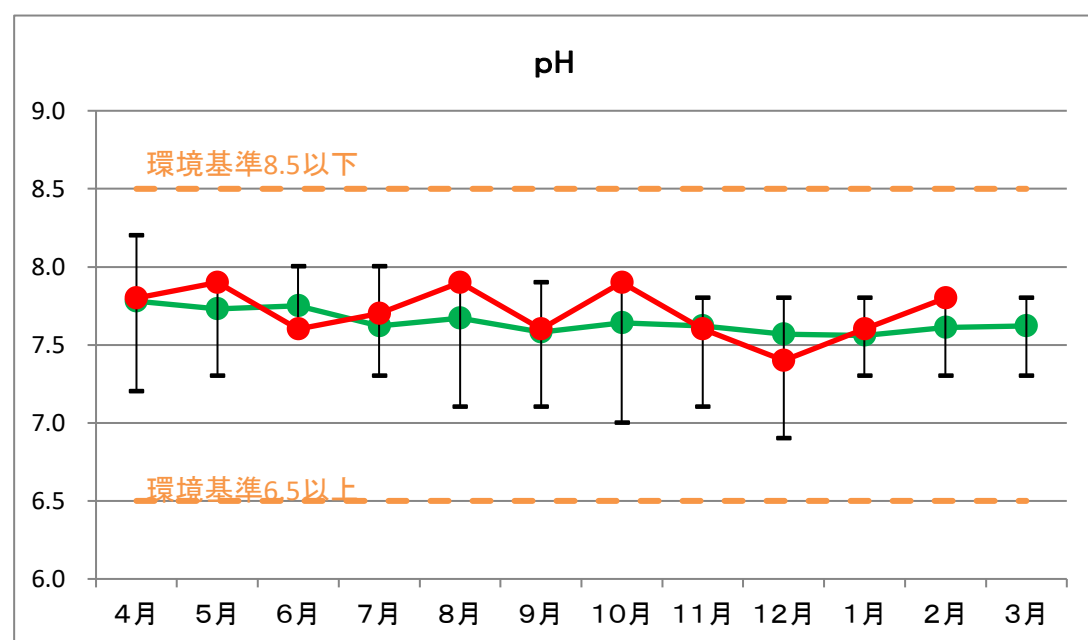
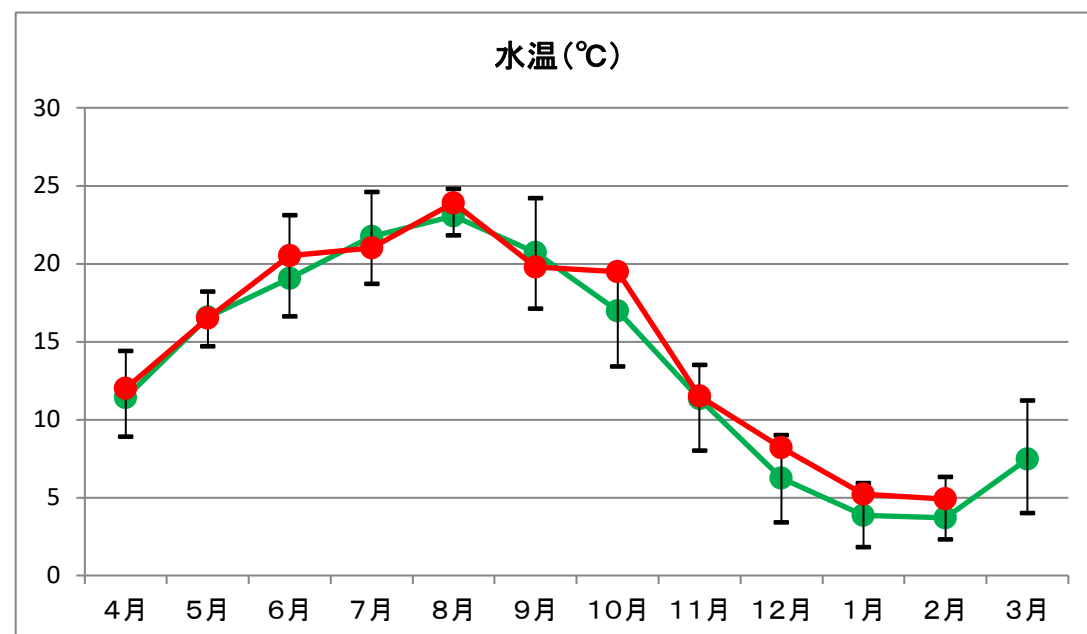
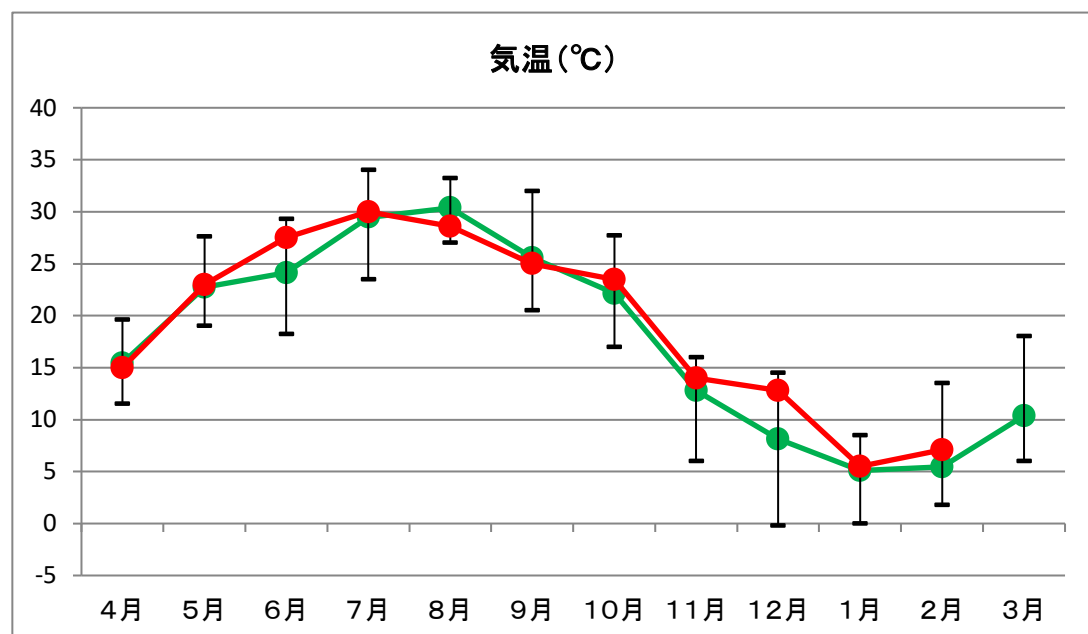
河川A類型

pH:6.5 ~ 8.5mg/L、DO:7.5mg/L以上、SS:25mg/L以下

3. 種生橋

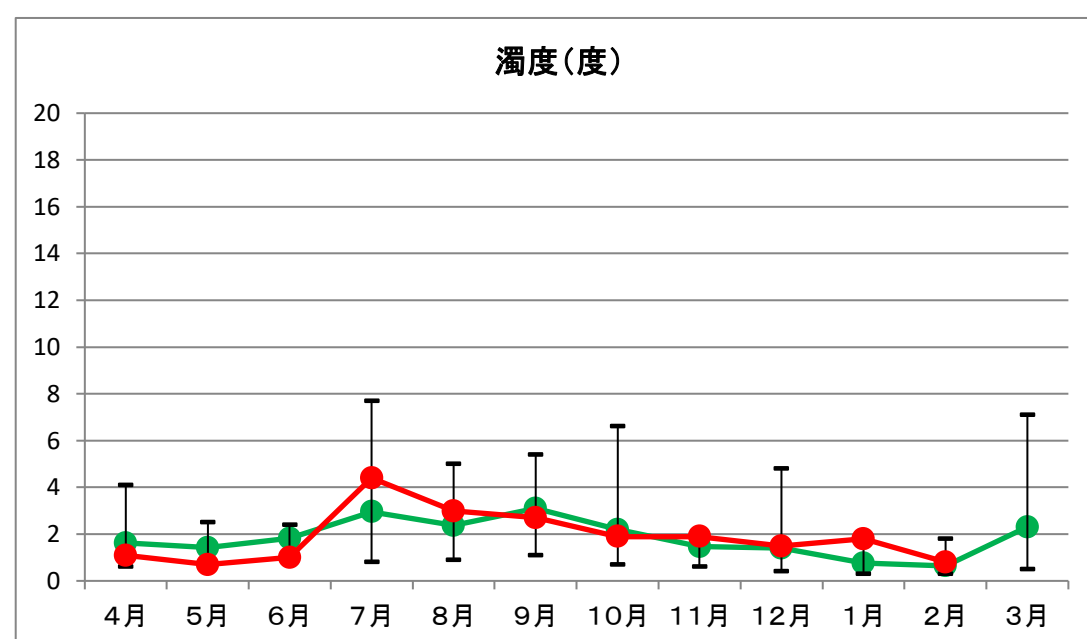
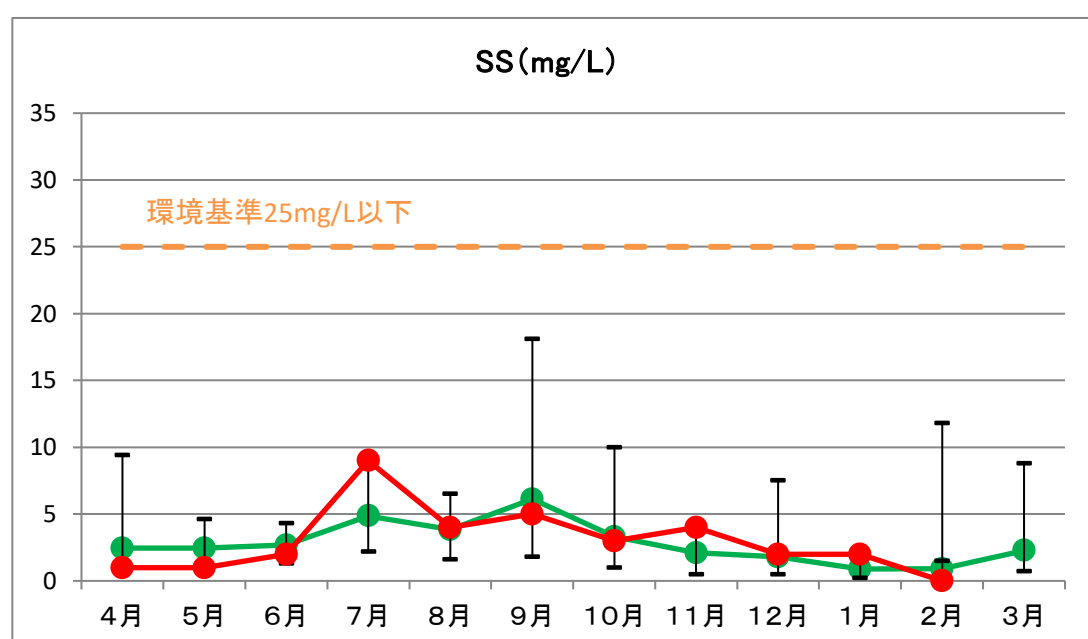
I 過去10年変動幅(最大値-最小値)
 ● 過去10年平均値
 ● 令和3年度値

(注)過去10年:平成23年4月~令和3年3月



※pH(水素イオン濃度指数):酸性、アルカリ性の度合いを示す物理量で、pH=7を中性と呼ぶ。

※DO(溶存酸素量):水中に溶存する酸素の量。酸素が少なくなると魚類をはじめとする水生動物は生息が困難となる。



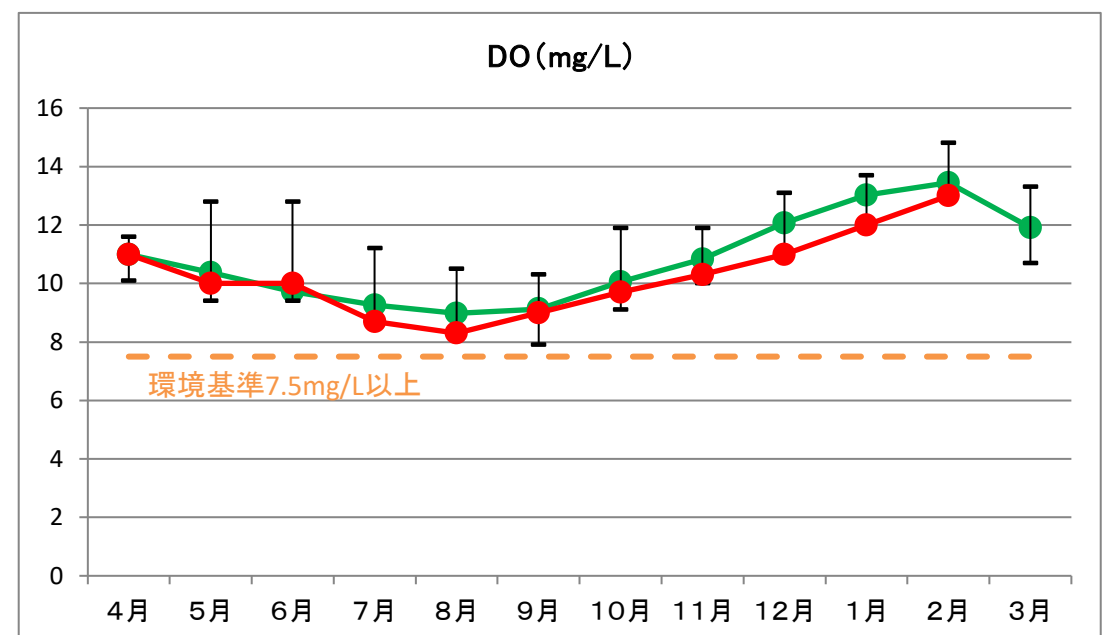
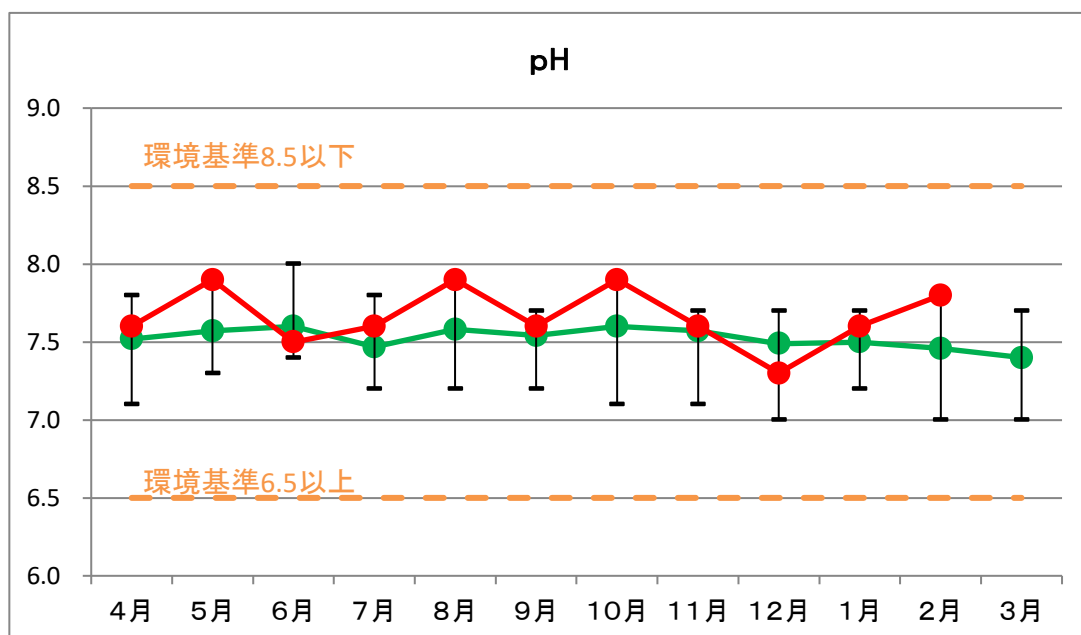
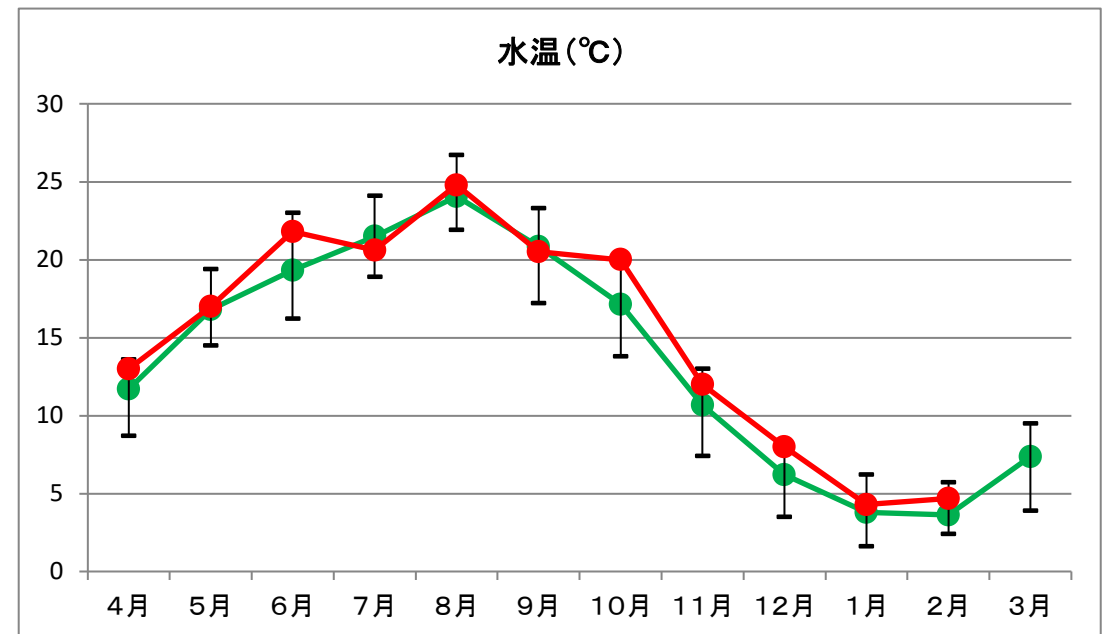
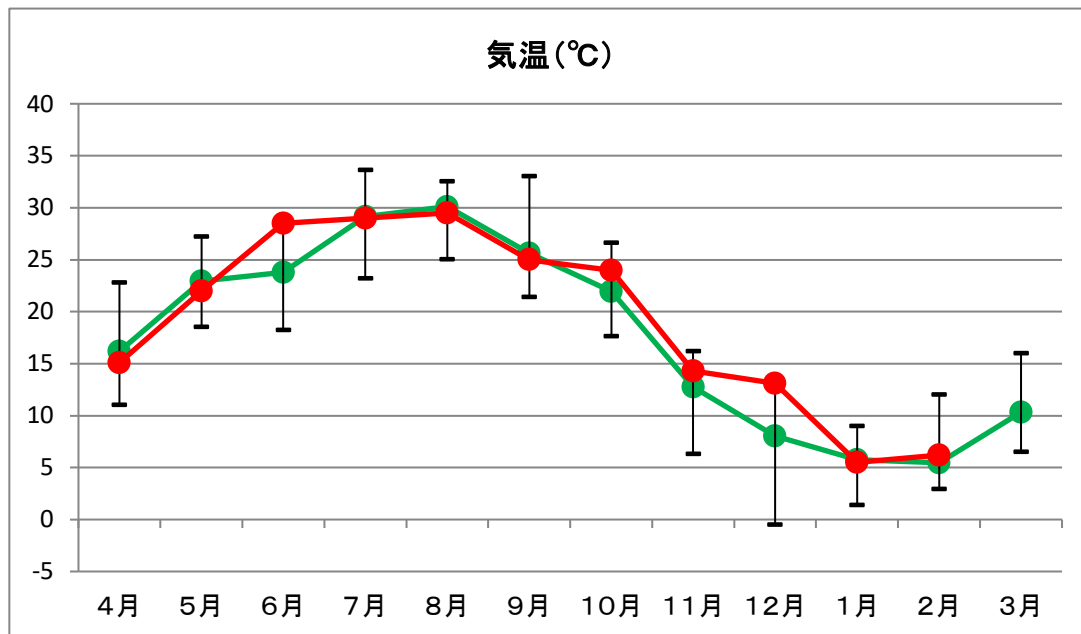
※SS(浮遊物質):水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶性物質の総称。

※濁度:水の濁りの程度を表すもの。

4. 安場橋

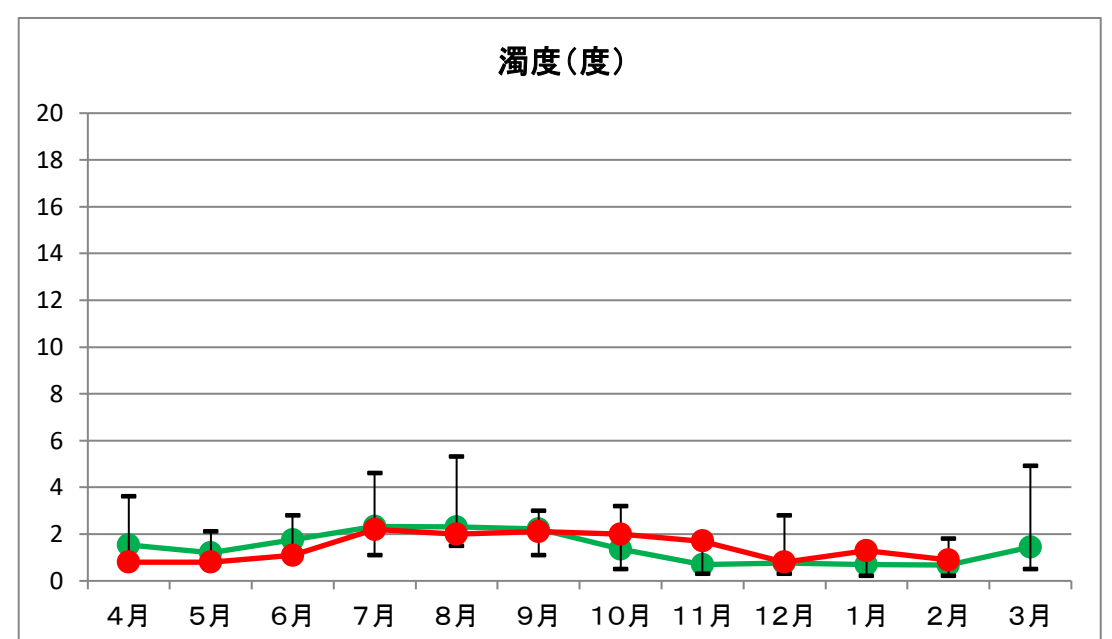
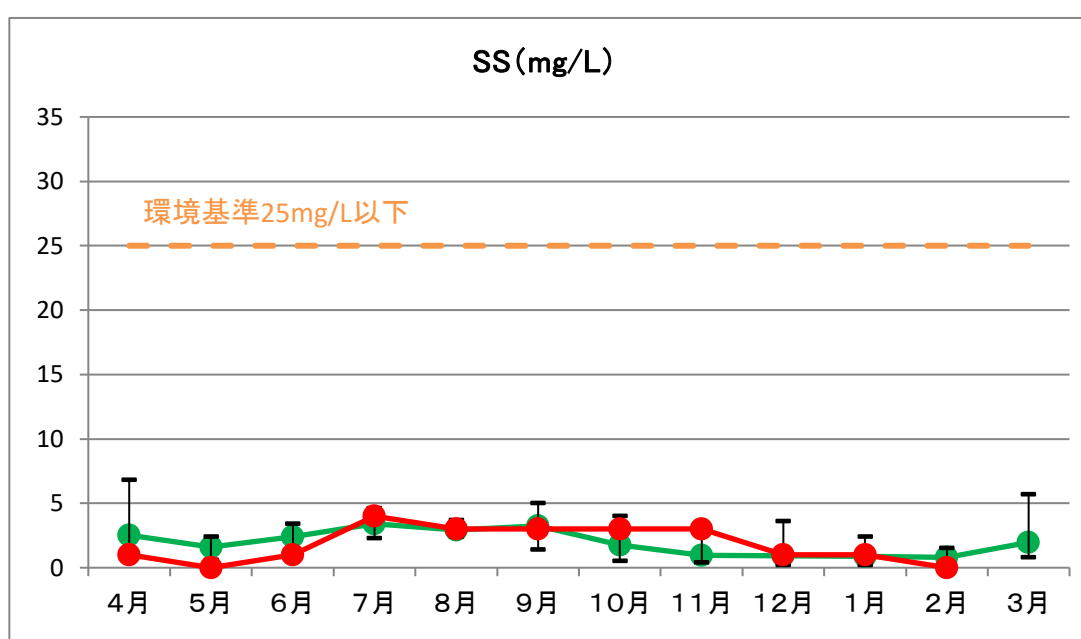
I 過去10年変動幅(最大値-最小値)
 ● 過去10年平均値
 ● 令和3年度値

(注)過去10年:平成23年4月~令和3年3月



※pH(水素イオン濃度指数):酸性、アルカリ性の度合いを示す物理量で、pH=7を中性と呼ぶ。

※DO(溶存酸素量):水中に溶存する酸素の量。酸素が少なくなると魚類をはじめとする水生動物は生息が困難となる。



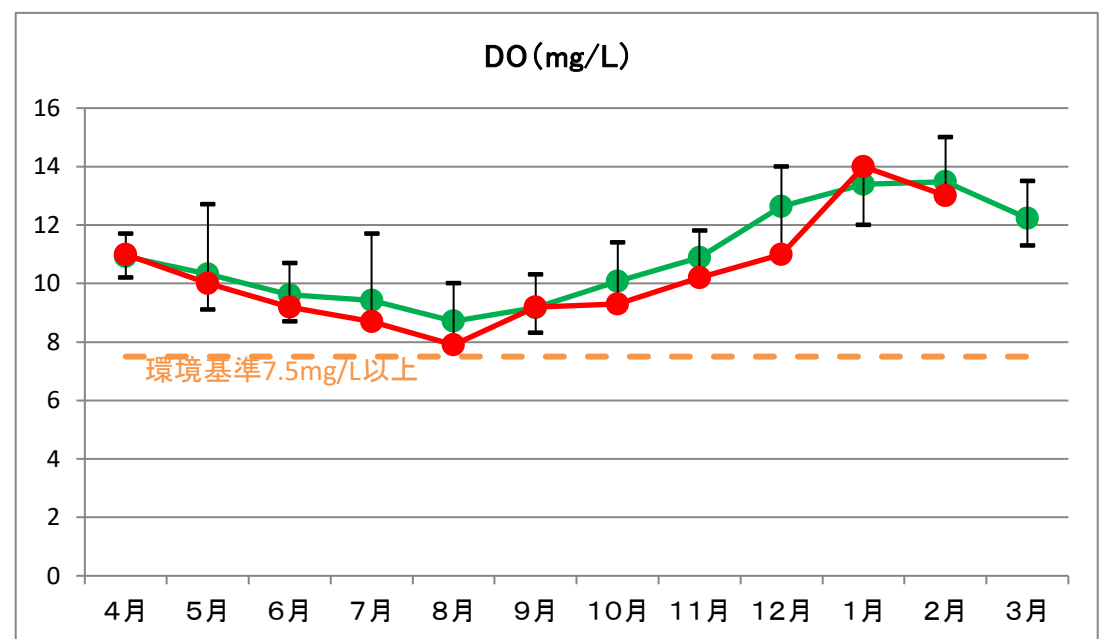
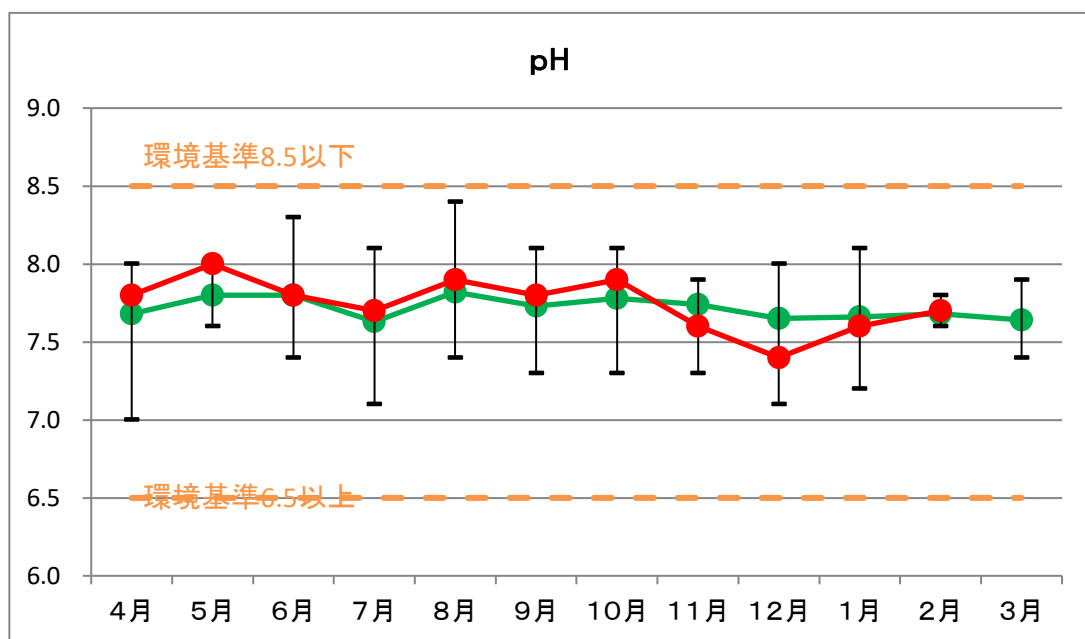
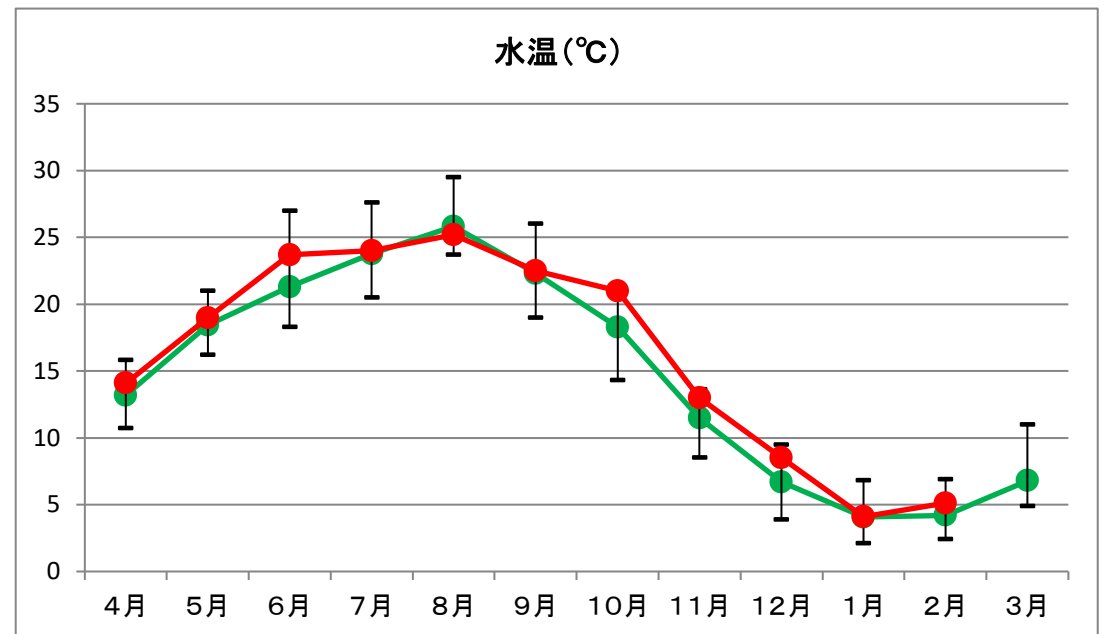
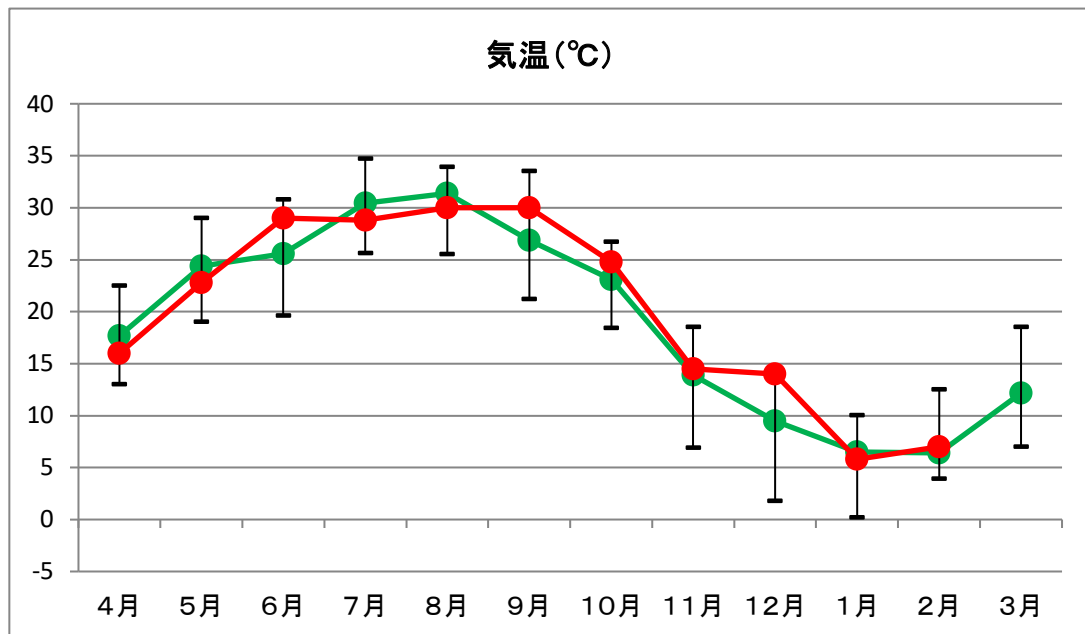
※SS(浮遊物質):水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶性物質の総称。

※濁度:水の濁りの程度を表すもの。

5. 羽根橋

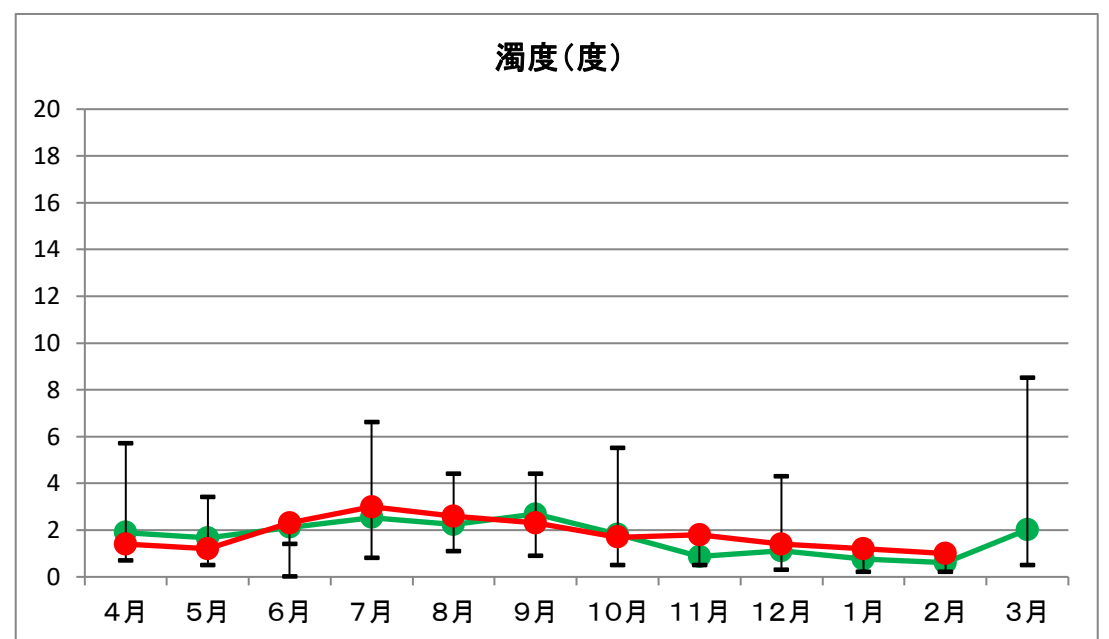
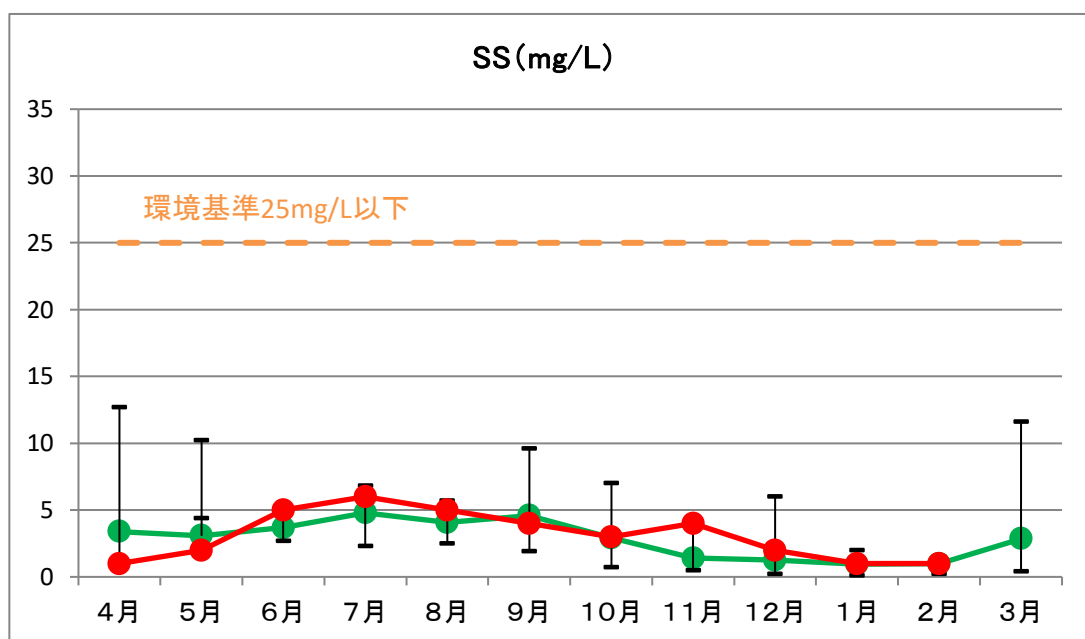
- I 過去10年変動幅(最大値-最小値)
- 過去10年平均値
- 令和3年度値

(注)過去10年:平成23年4月~令和3年3月



※pH(水素イオン濃度指数):酸性、アルカリ性の度合いを示す物理量で、pH=7を中性と呼ぶ。

※DO(溶存酸素量):水中に溶存する酸素の量。酸素が少なくなると魚類をはじめとする水生動物は生息が困難となる。



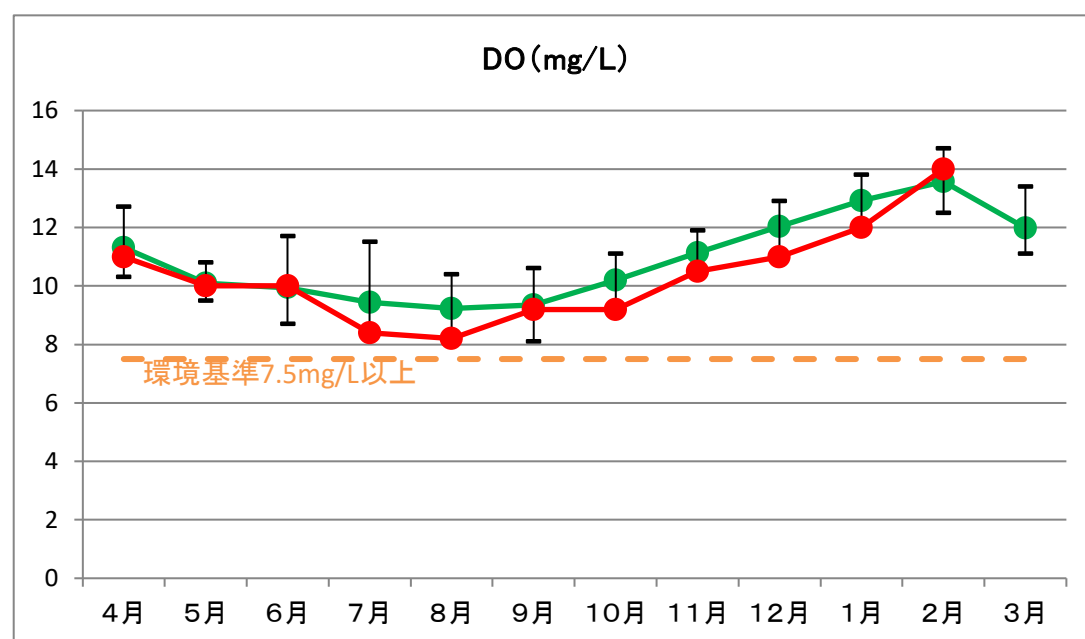
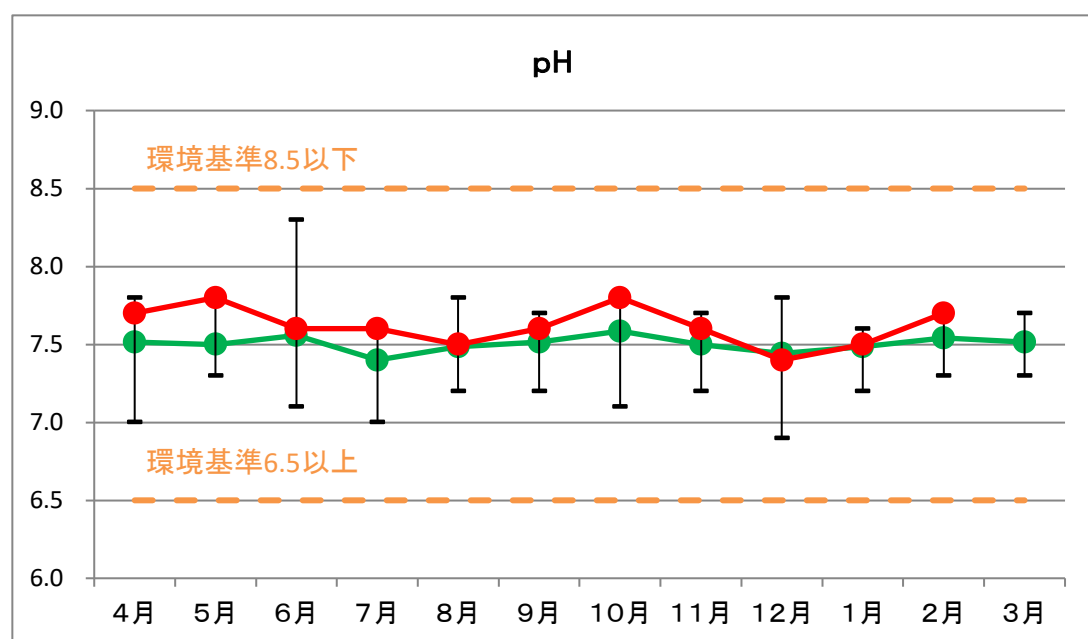
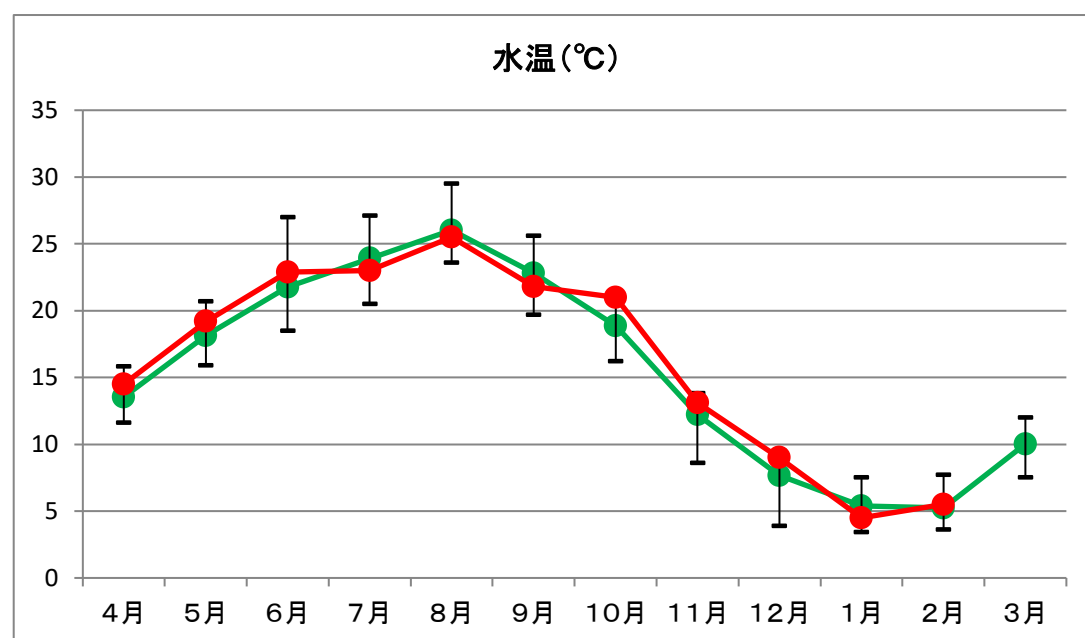
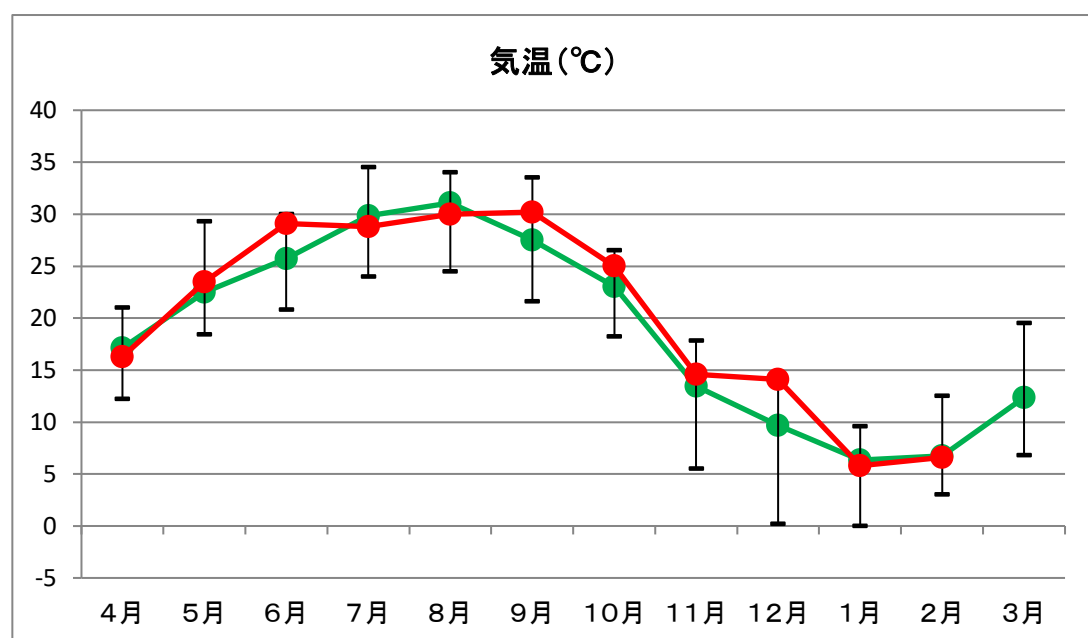
※SS(浮遊物質):水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶性物質の総称。

※濁度:水の濁りの程度を表すもの。

6. 後瀬橋

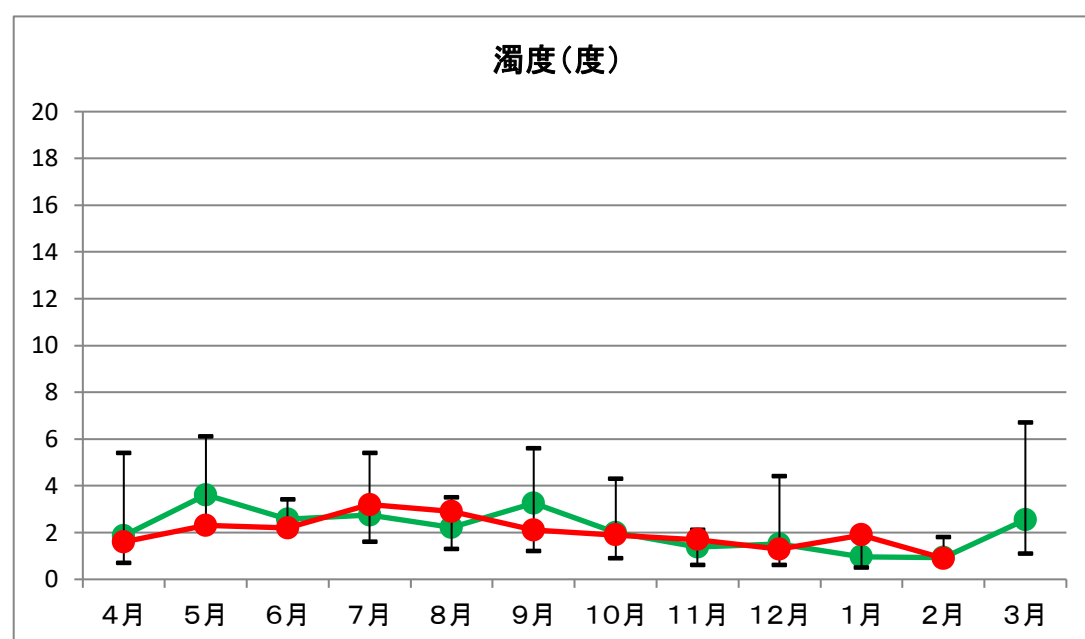
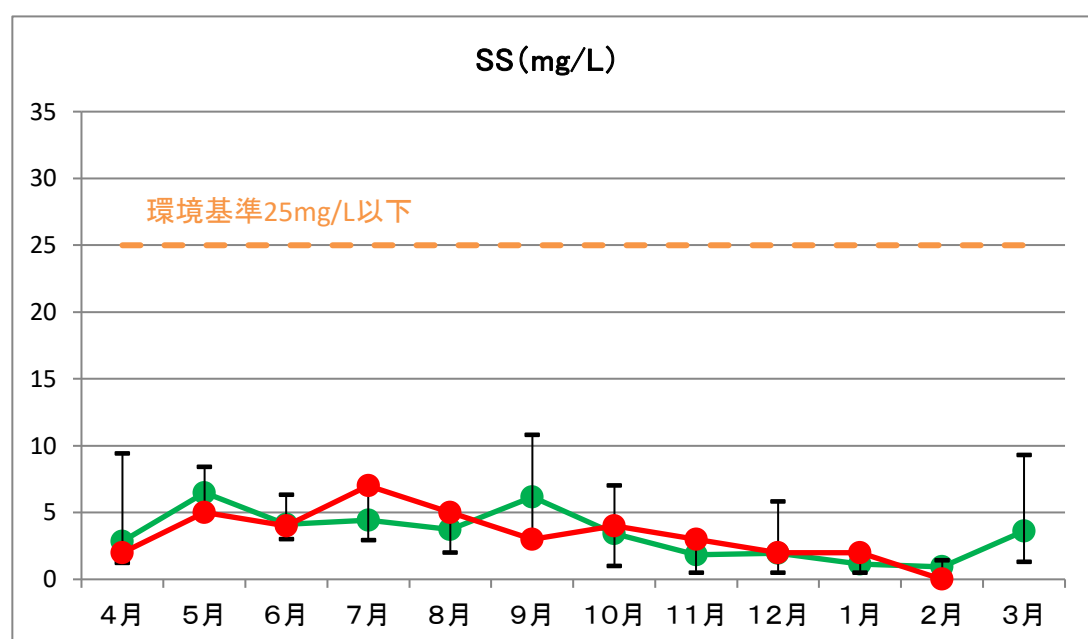
- I 過去10年変動幅(最大値-最小値)
- 過去10年平均値
- 令和3年度値

(注)過去10年:平成23年4月~令和3年3月



※pH(水素イオン濃度指数):酸性、アルカリ性の度合いを示す物理量で、pH=7を中性と呼ぶ。

※DO(溶存酸素量):水中に溶存する酸素の量。酸素が少なくなると魚類をはじめとする水生動物は生息が困難となる。

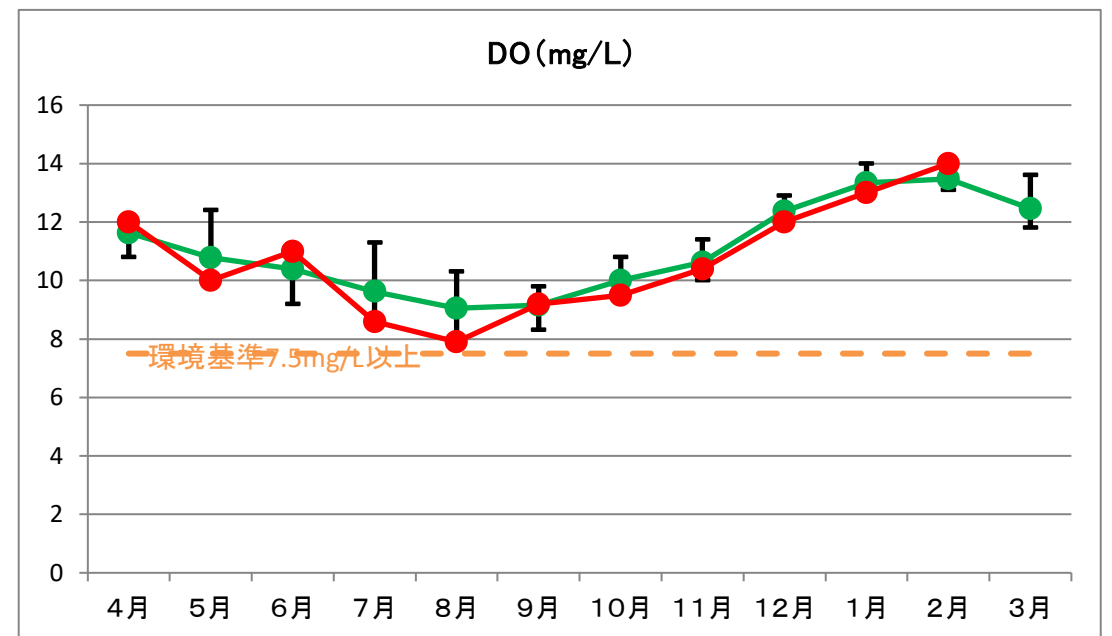
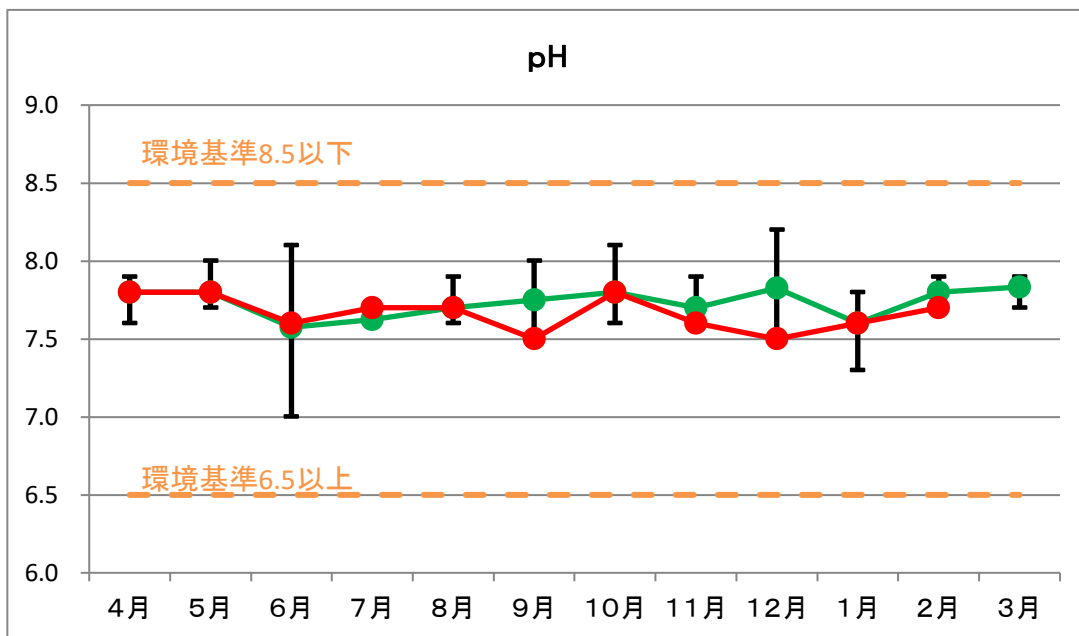
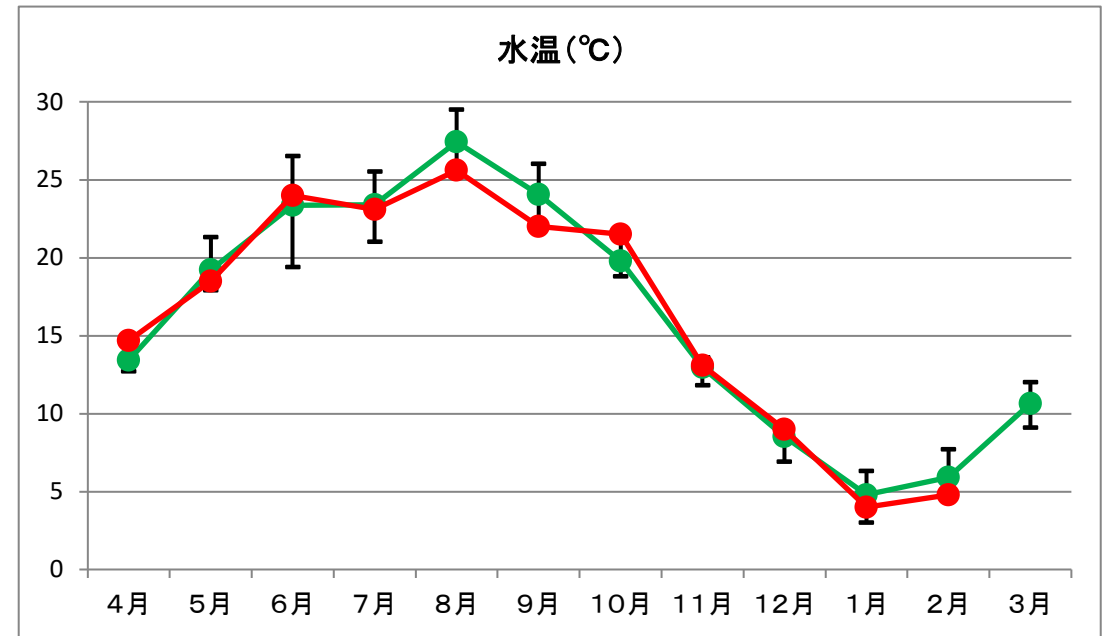
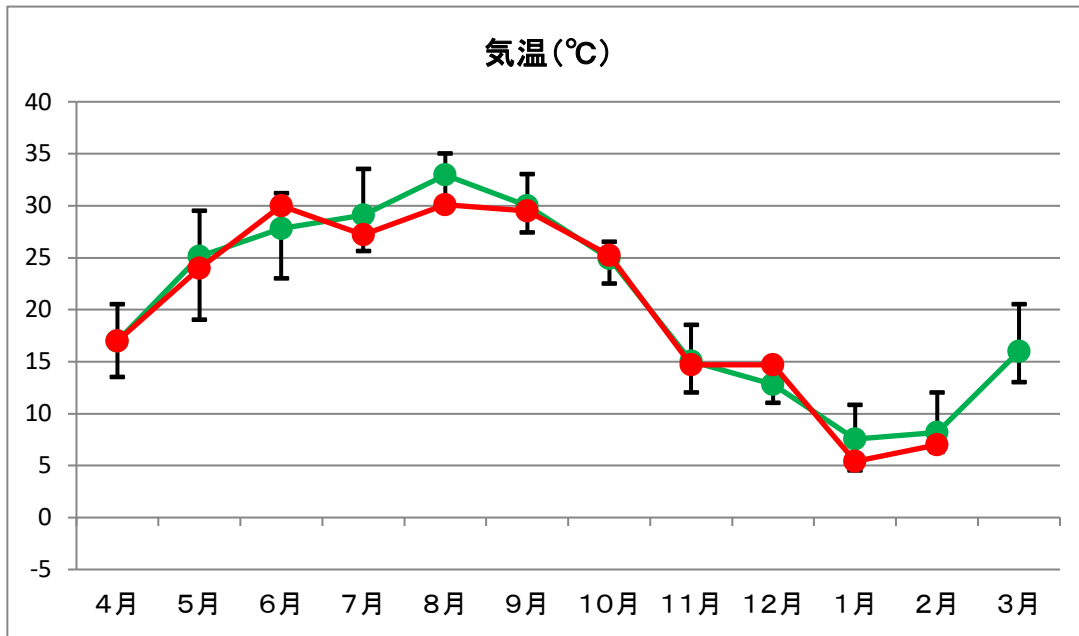


※SS(浮遊物質):水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶性物質の総称。

※濁度:水の濁りの程度を表すもの。

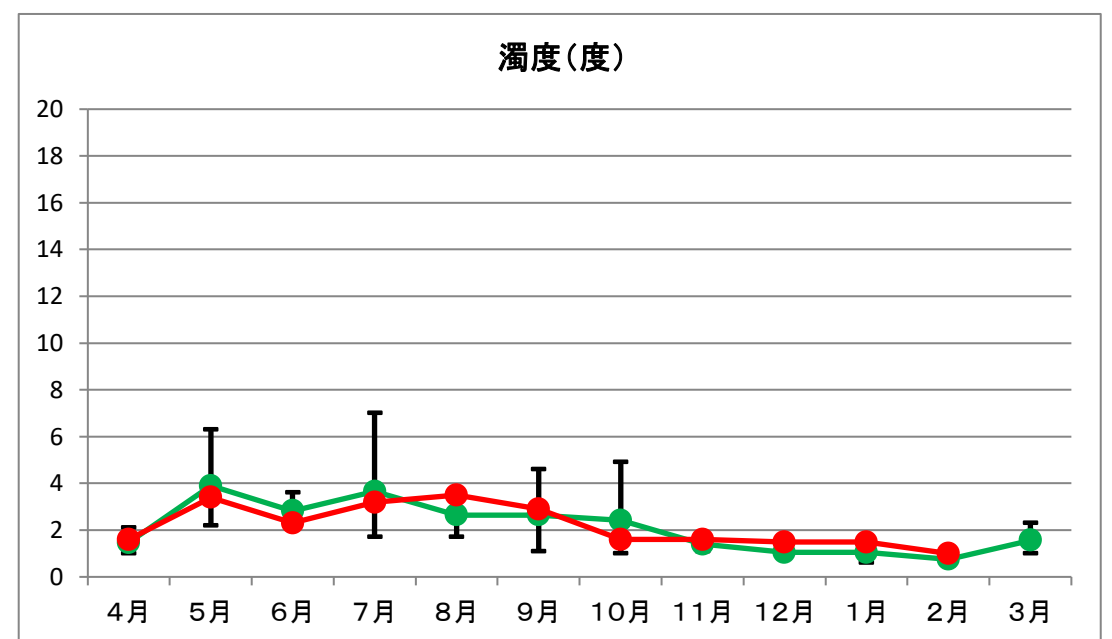
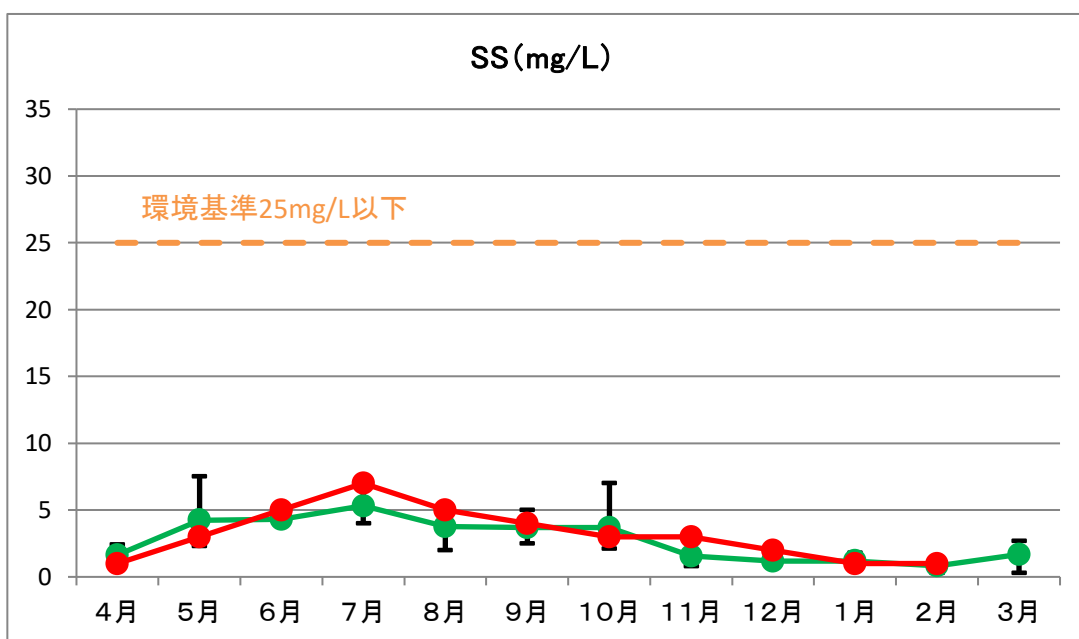
7. 比土橋

I 過去3年変動幅(最大値-最小値)
 ● 過去3年平均値
 ● 令和3年度値



※pH(水素イオン濃度指数):酸性、アルカリ性の度合いを示す物理量で、pH=7を中性と呼ぶ。

※DO(溶存酸素量):水中に溶存する酸素の量。酸素が少なくなると魚類をはじめとする水生動物は生息が困難となる。

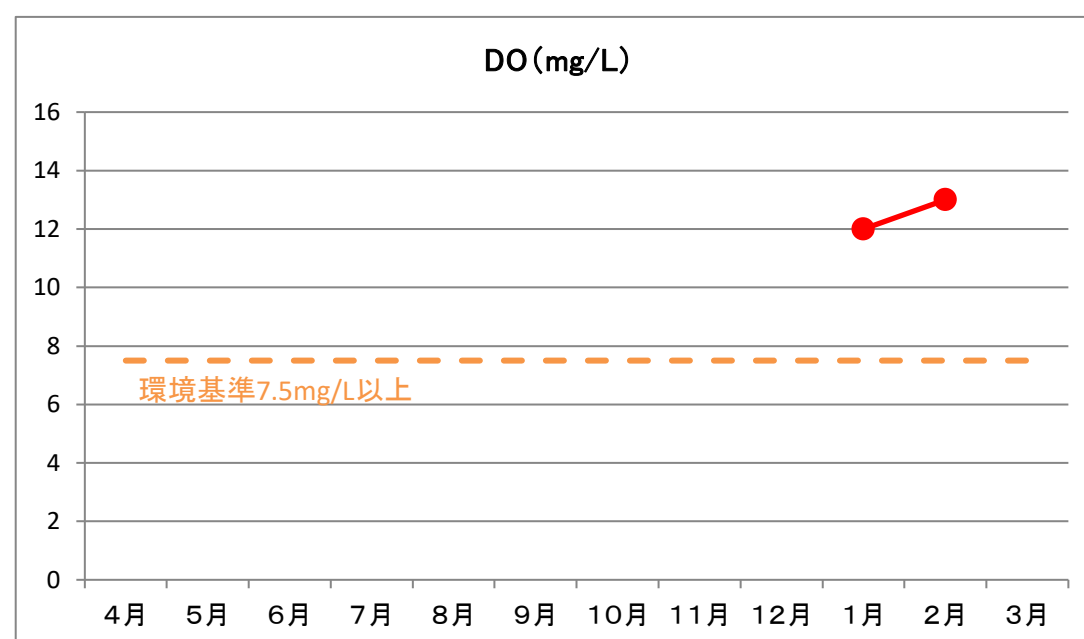
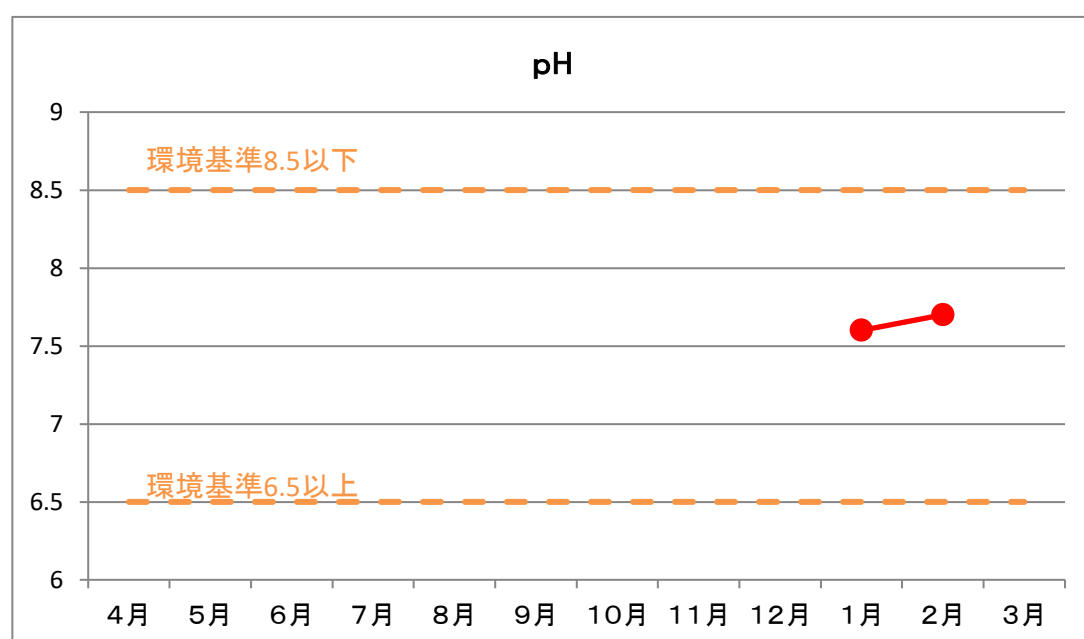
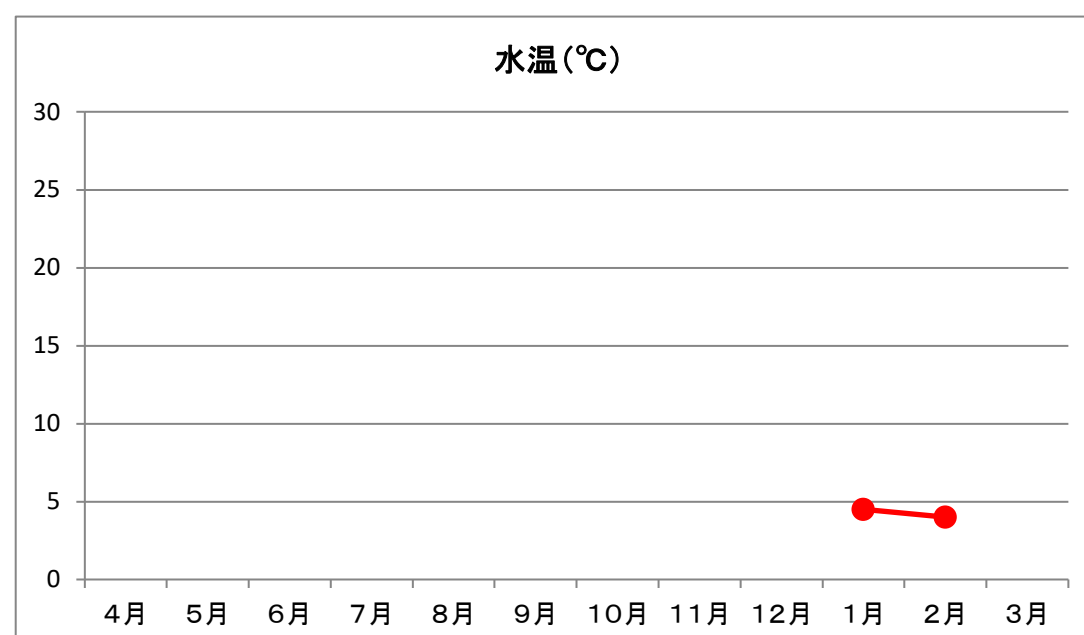
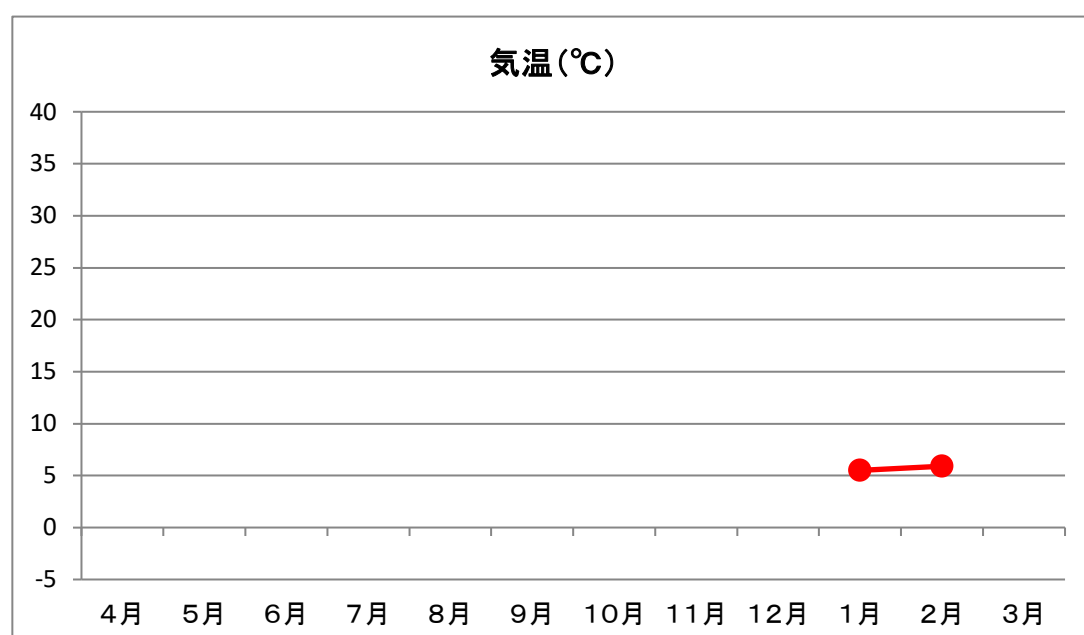


※SS(浮遊物質):水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶性物質の総称。

※濁度:水の濁りの程度を表すもの。

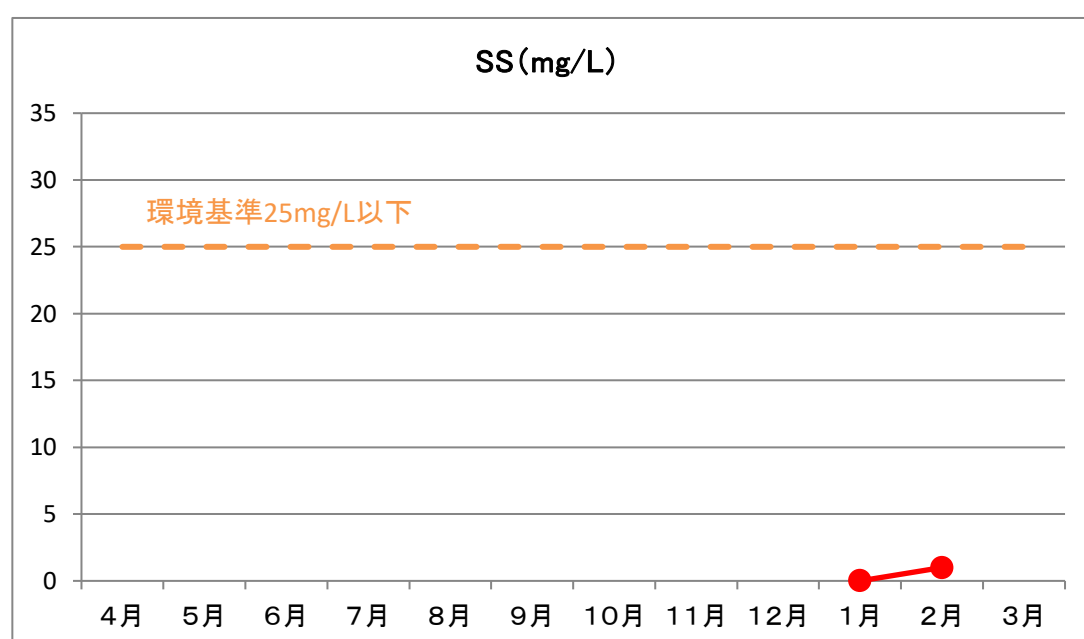
8. 貯水池内基準点(表層0.5m)

● 令和3年度値



※pH(水素イオン濃度指数):酸性、アルカリ性の度合いを示す物理量で、pH=7を中性と呼ぶ。

※DO(溶存酸素量):水中に溶存する酸素の量。酸素が少なくなると魚類をはじめとする水生動物は生息が困難となる。



※SS(浮遊物質):水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶性物質の総称。

※濁度:水の濁りの程度を表すもの。

※生活環境の保全に関する環境基準(水質汚濁に係る環境基準)

人の健康を保護し、また生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい環境上の条件についての基準。そのうち的生活環境項目については、水域の利用目的に応じた類型ごとに基準値が定められている。貯水池内基準点のある前深瀬川は環境基準の類型が指定されていないため、木津川本川(A類型)を参考とする。

河川A類型

pH:6.5 ~ 8.5mg/L、DO:7.5mg/L以上、SS:25mg/L以下